

特集
1

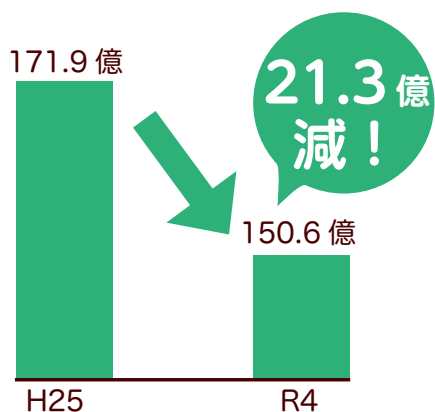
令和4年度

9年連続改善中!

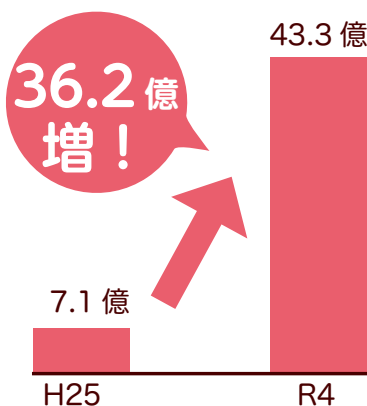
境町の財政

境町の財政状況をお伝えします!

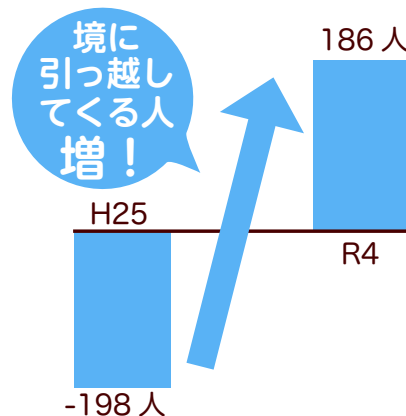
町の借金



町の貯金



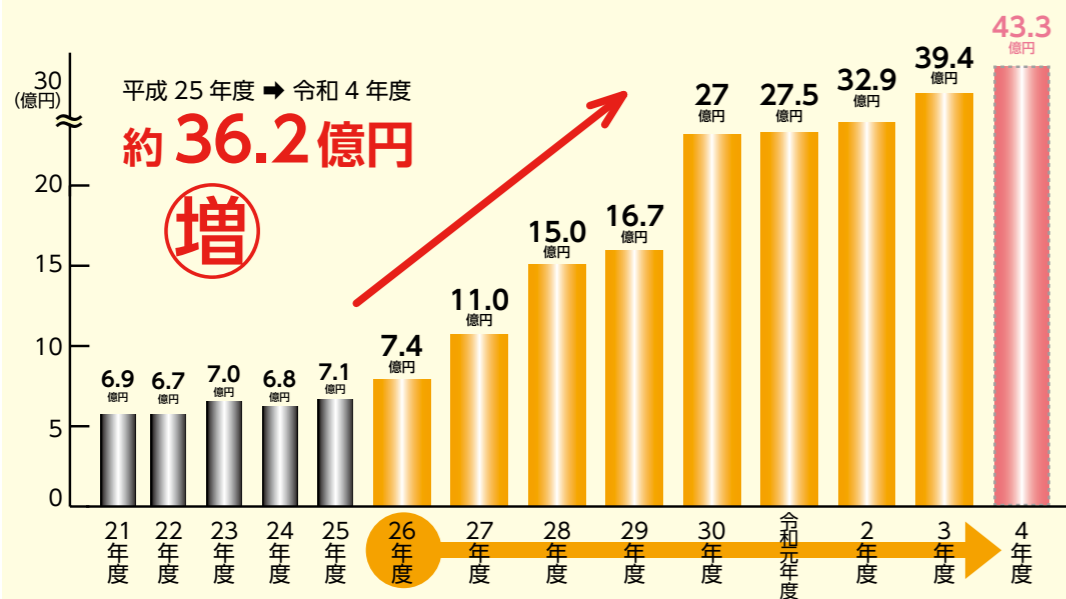
町の 転入-転出人口



特集 2 第36回利根川大花火大会

裏面特集 令和4年度
境町ふるさと納税

境町の貯金 (財政調整基金+ふるさと納税などの基金) の推移



町は、平成26年度以降毎年貯金を増やし、9年間で約6.1倍の43.3億円に増加しました。

境町は9年連続貯金も増やしています



おしえて 竹カイトキ R4年度 境町の 決算 台所事情



令和4年度の境町の決算は**黒字**となりました。財政改革への取り組みを続けている境町の台所事情 (財政状況) をお伝えいたします。

【純損益の推移】



営業収益の増収により黒字!

今後引き続き、住民負担を増加させることなく、安心、安全に利用できる水道水の安定供給に努めていきます。

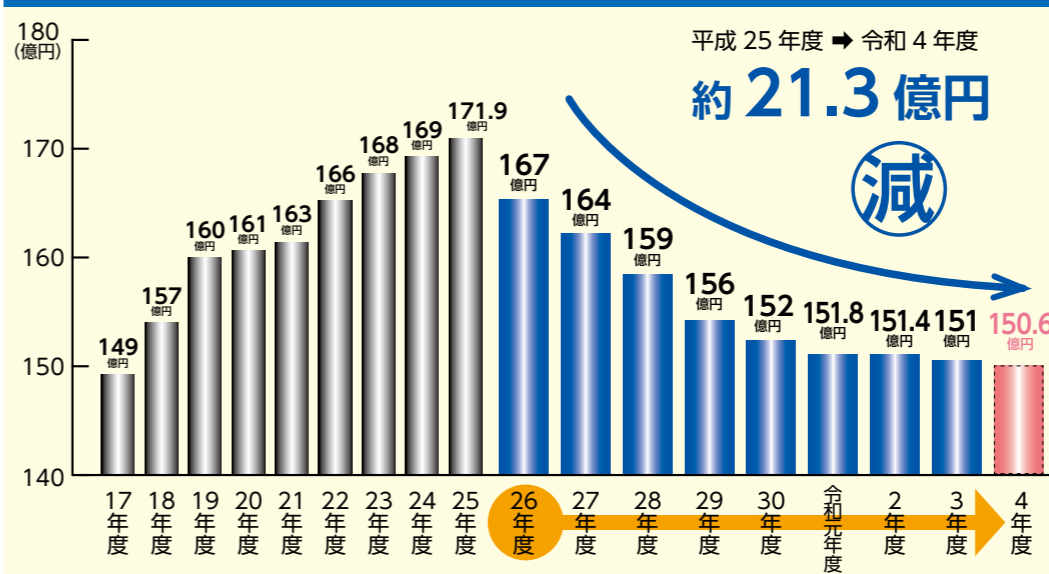
水道 令和4年度水道事業 4年連続黒字!

電気代削減 (年間500万円) に成功
契約会社を変更
境町が電力会社と交渉
平成28年4月1日より電力自由化。電気事業に市場競争が導入される。契約中の電力会社(東京電力)以外が選択可能に

電気 電力自由化を契機に 電気代削減!

例えば 1 改善の成果

境町の借金 (地方債残高) の推移



町は、平成26年度から令和4年度までの9年間、借金を減らし続けています。9年連続で借金の削減を達成! 総額約21億3千万円の借金を減らしたことで、平成17年度の借金の状況に近づきました!

境町は9年連続借金を減らしています



補助金の獲得 約31億1,940万円 (令和4年度)

平成26年度 約5,000万円
平成26~令和4年度まで
8年間で192.2倍の
総額約 **96.1 億円**
の補助金を獲得

太陽光発電事業 町への寄付額 1,906万円 (令和4年度)

令和4年度寄付額 1,700万円
令和4年度賃料 206万円 (町への場所代)
平成27年度の事業開始から
総寄付額等 約1億5,810万円

ふるさと納税 59億5,348万円 (令和4年度申込ベース 災害支援・GCF込み)

寄付額全国 **16位**
6年連続 **関東1位**
(平成29~令和4年度)
8年連続 **県内1位**
(平成27~令和4年度)

企業版ふるさと納税 3億67万円 (令和4年度)

令和4年度
寄付額全国 **21位**

例えば 2 新しい財源の開拓

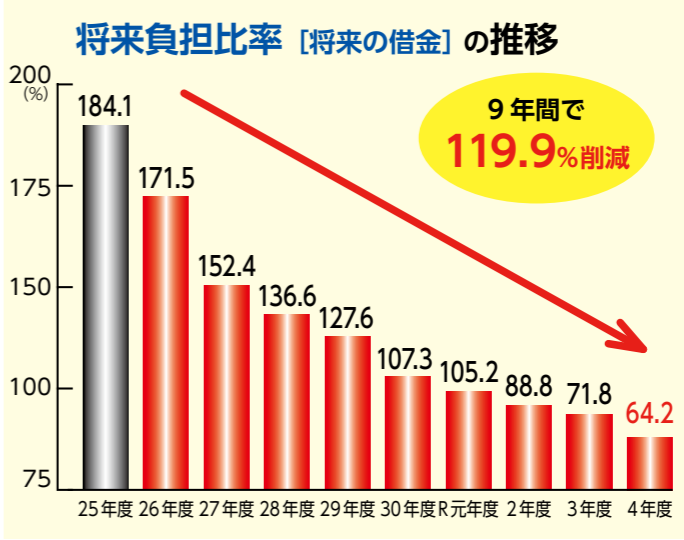
将来負担比率 (将来の借金) 9年連続改善! 昨年度より7.6%減

将来負担比率県内ワーストランキング

順位	市町村名	将来負担比率
1	水戸市	132.9
2	北茨城市	98.5
3	大洗町	86.4
4	下妻市	77.1
5	ひたちなか市	73.7
6	境町	64.2
7	美浦村	56.2
8	かすみがうら市	54.7
9	常総市	52.5
10	筑西市	51.6

【令和4年度茨城県内速報値】 (%)

もっと詳しく 将来の借金

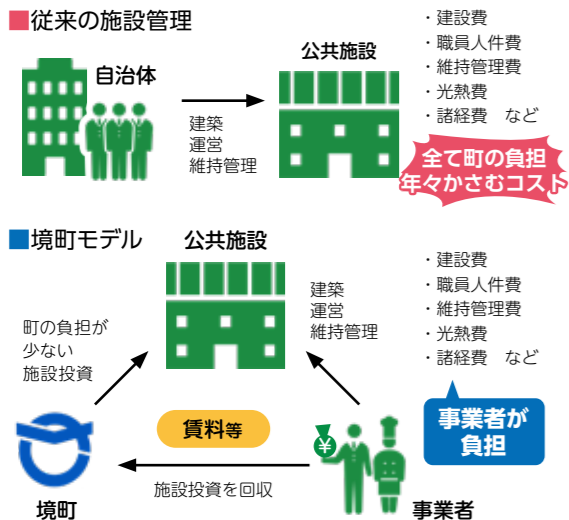


町の収入や貯金に対して、将来にわたり借金のどのくらい負担になるのかを指数で示した「将来負担比率」を見てみましょう。
境町の将来負担比率は、9年間で119.9%の減となりました。ただ、県内のワーストランキングでは6位なので、今後もまだまだ改善していかなくてはなりません。

境町モデルの確立

維持管理費ゼロの公共施設

施設運営を事業者に委託し、運営コストは事業者が負担、また、事業者から施設利用料をもらい受けることで、施設への投資を回収。町の負担だった運営管理費を0円にしながら「稼げる仕組み」を実現しました。



施設名	家賃等 町への収入 (令和4年度実績)
モンテネグロ会館	18万円
S-startup	48万円
S-study&heart	144万円
さかいサンド	360万円
河岸の駅さかい	204万円
8代葵カフェハワイ境店	500万円
道の駅さかいレストラン茶蔵	360万円
FOOD TERRACE SAKAI	120万円
wo-29 Butchers	660万円
パークホテルさかい	120万円
S-ブランド	120万円
S-Alohapark	120万円
S-Lab2nd	393万円 6,000円
S-wave	115万 5,000円
S-cafe	36万円
PFI事業 (アイレットハウス)	951万円
雇用促進住宅	2,117万円
収入合計	R4年度は6,387万1千円の収入が町に!

境町が大家さん!

最近の6年間に、境町ではたくさんの方が施設が完成し、賑わいを見せています。境町は、独自の工夫で町の負担を減らし、維持管理費ゼロで公共施設運営を行う「境町モデル」を確立しました。

この「境町モデル」では施設運営を事業者に委託し、運営コストは事業者が負担することで、これまで町の負担だった運営管理費は0円に！また、事業者から施設利用料をもらい受けることで、施設への投資を回収。町の負担を減らすだけでなく、「稼げる仕組み」を実現しました。

税金による公共施設維持費をなくし住民の負担を軽減しながら投資分を回収する境町の手法

維持管理費^{ゼロ}の公共投資
借金を増やさない新しい施設運営
境町モデル

新たな財源により収入(歳入)UP!
令和4年度の歳入は259億2,177万円、歳出は247億5,034万円となり、11億7,143万円の黒字となりました。
町の収入(歳入)が増えているのは、前のページで紹介した新たな財源の獲得と、借金を増やさない「境町モデル」で公共施設運営を行っているからです。

令和4年度決算は
11億7,143万円の
黒字です

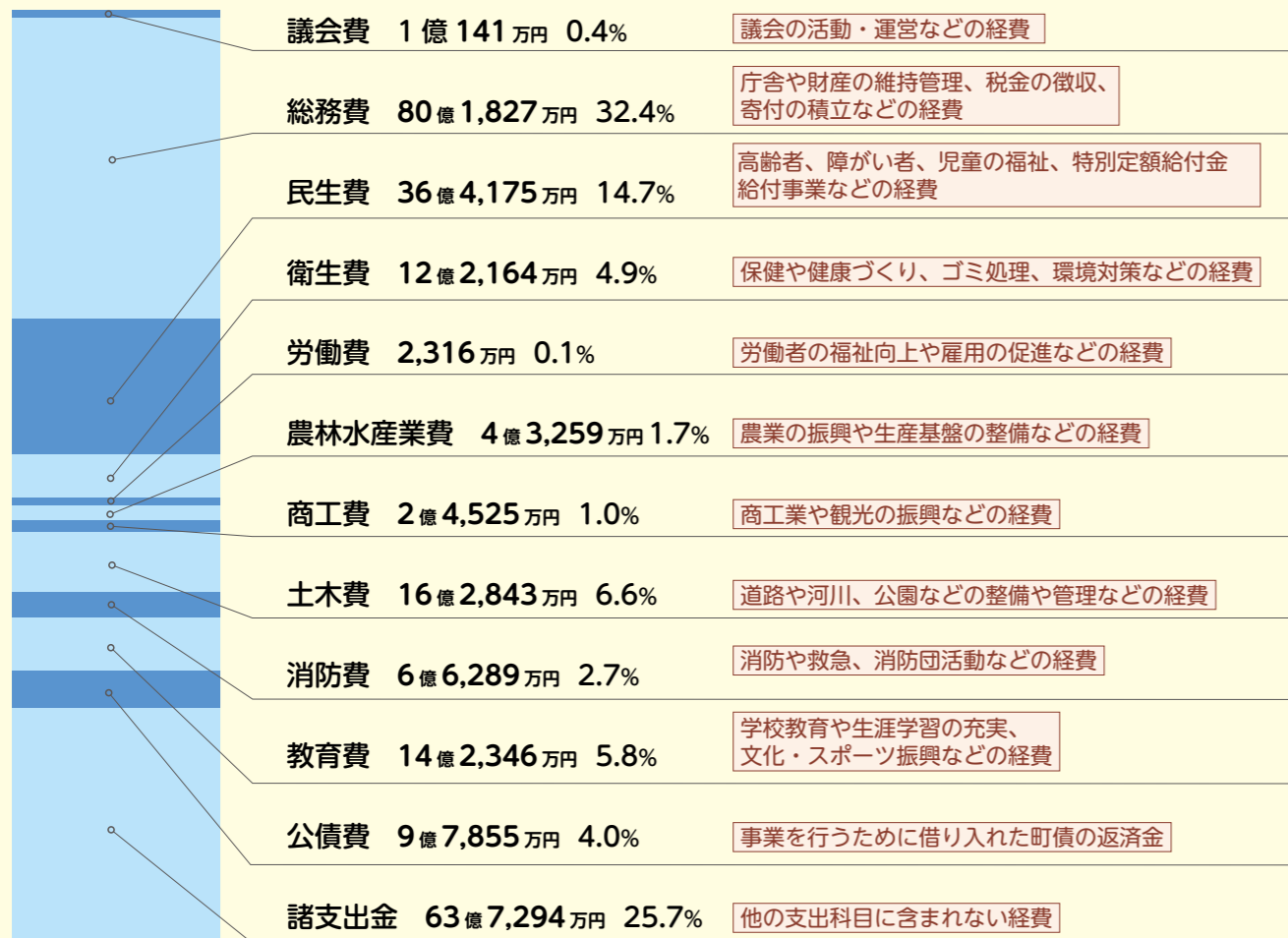


一般会計

歳出

R4年度
247億
5,034万円

事業費など令和4年度に境町が支払ったお金のこと



一般会計

歳入

R4年度
259億
2,177万円

税金など令和4年度に境町に入ってきたお金のこと



公

公共交通

「誰もが生活の足に困らない町」を目指します！

自動運転バス運行事業 1億1,446万円

国補助50% + ふるさと納税50%

全国初

全国初の公道定常運行！



令和2年11月26日から自治体として国内で初めて公道で自動運転バスの定常運行を開始しました。現在2つのルートを行い、令和5年12月1日時点で延べ約2万2千人以上の方にご利用いただきました。今後ルートの拡充等を実施していきます。

公共交通ネットワーク構築事業 8,370万円

国補助50% + ふるさと納税50%

東京駅まで最短90分 2万人以上の方が利用



令和3年7月1日に境町から東京駅に直結する高速バスが運行開始しました。東京駅直結のバスにより、お出かけや、通勤、通学などの圏域が広がります。また、境町のPRのため、ラッピングバスも運行しています。

防

防災安全

住民の安全・安心を守り 安心して暮らせるまちをつくる



河川氾濫に備える。冠水被害防止のために染谷川の改修工事を実施 1億1,083万円 (R3年度繰り越し含む)

国補助45% + ふるさと納税・一般財源を活用

河川氾濫に備え、冠水被害防止対策のために、染谷川の改修工事を実施



令和元年10月に発生した台風19号など、日本各地で豪雨被害や、河川氾濫などの大規模な水害が多く発生しています。境町では、平成27年4月の関東・東北豪雨災害における浸水被害を踏まえ、水害対策を進めており、その一環として、冠水被害防止のため染谷川の改修工事を実施しました。

商

商工・観光

街なかに賑わいと活気を創出するため

プレミアム付き電子クーポン等発行事業 7,104万円

国補助21% + ふるさと納税を活用

新規

燃料費・物価高騰への緊急支援を図るため「さかエール!! Pay」を発行



新型コロナウイルスの経済対策として感染症の影響により、落ち込んだ消費の早期回復を図るための経済対策として、第1弾のプレミアム付電子クーポンに続き、第2弾の子育て世帯、高齢者支援、第3弾の農業・商工業事業者を対象に実施しました。

アートのまちづくり推進事業 1,200万円

国補助50% + ふるさと納税を活用

新規

町の文化活動を盛り上げる事業を実施



境町のアートのまちづくりの環境で、「世界のこどもたちの絵画展・遠藤彰子展」や「火がつくる文様絵画と土器彫刻松山賢展」などを実施しました。今後もいろいろな企画展を実施し、町の文化活動を盛り上げていきます。

住民から選ばれるまちづくり

令和4年度に実施した 主な事業

お金は どうしてるの? どんな事を してるの?



子育て支援

福祉健康

防災安全

商工観光

公共交通

コロナ対策

子

子育て支援・教育

子育て世帯が安心して 育み・暮らせるまちづくり



保育園・認定こども園副食費・主食費無償化 補助事業 2,417万円

ふるさと納税100%を活用

保育園・認定こども園の児童の給食（副食費・主食費）無償化！所得制限なし！



幼児教育・保育無償化（国の施策）の対象となる3～5歳児の給食費について、児童一人当たり月額5,300円（所得制限なし）を補助。幼保無償化により、これまで保育料に含まれていた給食費が保護者負担となるところ、境町では給食費の無償化を実現しました。

防災拠点緊急整備事業（小学校体育館・文化村体育館） 3億1,900万円

新規

緊急防災・減災事業債を活用

小学校の体育館等にエアコンを設置！ 猛暑に対応し、いざという時は避難所になります



近年大変な猛暑が続く中、児童生徒の熱中症対策と教育環境のさらなる整備を進めるため、小学校の体育館等にエアコンを整備しました。子どもたちがより安全で快適に運動できる環境が整い、教育活動の幅が広がっています。災害時には、避難所に指定されていることから、避難所環境の改善に繋がります。

福

福祉・健康

健康寿命を伸ばし 誰もが健やかに 暮らせるまちづくり

葉酸サプリメント事業 461万円

国補助35% + ふるさと納税65%を活用

脳卒中・認知症の予防効果が期待 葉酸サプリ1年分を配布



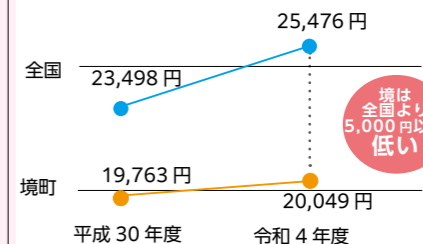
65歳以上の希望者全員に、脳卒中・認知症の予防効果が期待される「さしま茶入りの葉酸サプリ」を1年分配布し、健康寿命の延伸に役立ちます。

介護保険事業 19億8,556万円

国・県補助金+保険者機能交付金+介護保険料を活用

町民の皆さんが健康づくりの取り組みに積極的に協力していただいた効果で、介護保険の給付額の伸び率が低く、かつ、介護予防などの取り組みが評価された結果、保険者機能交付金が茨城県上位となっています。そのため、境町の介護保険料（基準月額）は平成30年以降据え置きとなっています。

第1号被保険者1人あたり費用額（推移）



全国平均（基準月額） 第7期（H30～R2） 5,869円 → 第8期（R3～R5） 6,014円

全国より214円低い

境町（基準月額） 第7期（H30～R2） 5,800円 → 第8期（R3～R5） 5,800円

境は介護保険料据え置き

第36回

利根川

大花火大会

4大花火師夢の共演

日本最大級!!

3万発の音楽花火

打ち上げ数

1位 全国

行ってよかった

7位 全国

行ってみたい

11位 全国

ウォーカープラス全国花火大会花火
カレンダー2023より(2024年1月時点)



Photographer Hiroki Oka



Photographer Yuhei Ueda

来場者数30万人
全国最大規模3万発の
花火大会、境町で開催!

令和5年9月16日(土)境町の利根川
河川敷において、第36回利根川大花火大
会が開催され、国内最大規模の約3万発
の花火が打ち上げられました。

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類
に引き下がり、特に影響を受けていた外
食や観光産業、インバウンド等に関連す
る業態の需要回復がみられ少しずつ活気
を取り戻してきている中で昨年に続き2
年連続の開催となった今回、山崎煙火
製造所(つくば市)、野村花火工業(水
戸市)、紅谷青木煙火店(長野県)、マル
ゴー(山梨県)の内閣総理大臣賞受賞歴
のある有名花火師4社に加え、エキシビ
ジョンマッチとしてワキノアートファク
トリー(福岡県)、丸玉屋小勝煙火店(東
京都)の2社を迎え、さらにパワーアッ
プした花火を県内外から境町を訪れた約
30万人の来場者が楽しみました。



さかいふるさと祭り
実行委員長
石川栄

さかいふるさと祭りを開催する
にあたり、各種団体並びに多くの
企業、町民の皆様のご支援ご協
力を賜り心より感謝申し上げます。
私たち実行委員会は、若いメン
バーを中心に手を取り合い、仲
間を作り、このふるさと境町を盛
り上げていくために活動していま
す。そして、子供たちがふるさと
を誇れるような花火大会にしてい
きたいと思ひます。





10/4

スキップ・マーティンさん 小中学校で指導

グラミー賞を受賞した米国の人気アーティスト、スキップ・マーティンさん(66)が町長を表敬訪問しました。その後、境町の小中学校3校を訪問し、トランペットや歌を披露したほか、特別講師として吹奏楽部員に指導もしました。マーティンさんは「みんなシャイだが、演奏や話をすごく熱心に聞いてくれた。今日、学んだことを覚えてほしい。」と語られました。

マーティンさんは1980年代から「ダズ・バンド」、「クール&ザ・ギャング」のボーカル、トランペット奏者として活躍。2016年に初来日し、東日本大震災の被災地などを支援しました。17年から「子どもたちは私たちの未来」をテーマに学校や幼稚園などの訪問を続けています。23年には、米大統領から特別功労賞が授与されました。



橋本町長(中央)を表敬訪問したスキップ・マーティンさんら

10/14

利根川の氾濫想定 住民600人広域避難

10月14日(土)利根川氾濫による町外への避難を想定した総合防災訓練を初めて実施しました。住民約600人が参加し、町中心部から約12キロ離れた指定避難所でこれまでに唯一避難実績のない県立八千代高校(同県八千代町平塚)に、検証を兼ねて広域避難を実施しました。

訓練は、利根川の氾濫の危険性が高まったとして、午前8時に「高齢者等避難」町内全域に発令し、8時45分に「避難指示」を発令しました。住民は、防災行政無線や防災アプリなどで避難情報を確認後、自家用車や用配慮者は、町が用意したマイクロバス6台で避難。平均23分で八千代高校に到着しました。

参加者からは、「災害に備え、こういった訓練は重要ですね。」などの話がありました。



総合防災訓練にてあいさつをする片田特任教授

8/23~8/27

英語教育でホームステイ ハワイに初めて中学生を派遣

姉妹都市の米ハワイ州ホノルル市にある姉妹校アリアマヌ中学校に町内の中学生を初めて派遣しました。派遣第1期生の15人は、作文や英語での面接を経て、境一中から9人、境二中から6人が選ばれました。

8月18日(金)、15人の生徒が橋本町長を表敬訪問し、英語力の向上やハワイの文化を学びたいとそれぞれ抱負を述べました。23日(水)に羽田空港を出発し、州立アリアマヌ中学校の生徒と交流。通常の授業のほかに、フラダンスやウクレレのレッスン、島巡りなども体験しました。生徒たちは、英語の学習と併せてハワイの伝統文化や歴史も学び、現地の生徒の家庭にホームステイをして交流を深めました。また、ホノルル市長や日本領事館を表敬訪問し、28日(月)に帰国しました。



参加者での集合写真

9/13

森戸小5年生が稲刈りを体験!

森戸小学校では、5年生による稲刈りの体験学習を実施しました。ほとんどの子どもは稲刈りが初めてだということで、農家の方々から鎌の使い方を教えていただき、児童たちは稲を一束ずつ掴み、慎重に刈り取っていました。

普段はできない稲刈りの体験に、児童たちは「難しいけど、作業を進めていくうちにコツをつかみ、楽しく稲刈りができました。」と話していました。



刈り取りの様子

新二十歳・ふるさと納税寄付者・バスツアー・町内・町外来場者など多くの方が参加!

「花火大会はいかがでしたか？」



東京都
大田区

伊貝さんファミリー
10数年振りの花火大会で、しかも3万発も見ただけは初めてでとても感動しました。来年も是非見に来たいです。今回の花火大会を通じ、初めて境町を知りました。とても素晴らしい取り組みだと思います。旅行で訪れたいと思います。



三重県
伊勢市

濱口さんファミリー
期待通りの迫力満点の3万発花火でした。はるばる伊勢から来た甲斐がありました。有名な花火師の共演だけあって、色・形・音楽もすばらしい!スタッフの方々も親切に対応してくださりとても気持ちよく帰れそうです。圧巻!!素晴らしい花火大会でした!来てよかった!



ふるさと
納税

浦池さんファミリー(東京都多摩市)
東京・九州の花火師は感動しました。今までの花火の見方と違い、ストーリーを感じました。大好きなYOASOBIのアイドルの曲も流れてうれしく、盛り上がりました。ありがとうございました。



新二十歳

佐藤小町さん(栃木県)・岩上悠香さん(埼玉県) 藤原由依さん(陽光台)・青木由実さん(旭町)
久しぶりの会場での花火は迫力満点で素晴らしいものでした。20歳の最高の思い出になりました。他県の友人も楽しんでくれました。



千葉県
成田市

近藤さんファミリー
初めて観にきました!!圧巻です!!毎年、長岡花火大会を観に行っていますが、今年も行けず、境町の花火大会を観て、素敵でした!! FINALEも最高でした!!



茨城県
水戸市

鈴木さんファミリー
去年に続き、今年も観賞しに来ました。様々な種類の花火と打上げ数に圧倒されました。会場の観客も盛り上がり、家族で楽しい時間を過ごすことができました。是非、来年もまた来たいです。花火観賞以外にも、自然の景観や特産物を楽しむため、また来たいと思います。



東京都
大田区

利根川裕之さん・落合瞳さん
初めて利根川大花火大会へ参加しました。同じ利根川ということで、親近感を持ちつつ、彼女と期待して楽しみにしていましたが、オープニングから想像をこえるスケールでビックリしました。4大花火師の誇りを感じる時間でした。最大のFINALは圧巻して心が躍りました。ありがとうございました!



千葉県
浦安市

光岡航さんと飯島麻美さん
全部すごかったです!!はじめての利根川大花火大会でしたが、来年もまた絶対に行きます!



新二十歳

宮本奈桜(伏木)さんと齊藤歩(塚崎)さん
言葉では表現できないほどの美しい花火でした。夏を締めくくりに相応しい瞬間でした。招待していただきありがとうございます。これからも多くの人に愛されて、日本を代表する町になってほしいです。



長野県
長野市

島昌謙さんと島美咲さん
野村さん、マルゴーさんはやっぱり最高でした!!!最後の13分はすごかった!アナウンスの声も優しくてステキでした!!



新二十歳

岸本澤音さん(内門)と江俣拓実さん(鹿沼市)
一言で表すと『とんでもなく素晴らしい花火大会でした!!』関東最大級と言われるだけあって本当に感動ものでした。音楽と花火のコラボレーションはこれ以上なく素晴らしいです。2023年夏の最後に利根川大花火大会で締めくくられて本当に良かったです!来年も心から楽しみにしています!!



千葉県
松戸市

フジさんファミリーと皆さん
初めて境町の花火を見て感動しました。本当に素晴らしい花火大会でした。音楽と共に目の前に上がる花火がとても綺麗で感動し、繊細さ、美しさ、且つダイナミックなパワーの花火を見て楽しい一日でした。

スポーツ

10/24

人権擁護委員に法務大臣感謝状・委嘱状交付

人権擁護委員を退任された小野里光男さん（塚崎）と倉持薫さん（松岡町）に法務大臣感謝状が伝達されました。また、千葉等さん（大歩）には町から感謝状が送られました。

この感謝状は、長きにわたり人権の擁護や、人権教室などの啓発活動等、人権擁護委員として功績をたたえるものです。



感謝状を受け取る皆さん
(左から千葉さん、小野里さん、倉持さん)



委嘱された皆さん
(左から小松原裕さん（境地区）、染谷富士男さん（森戸地区）、芝田和則さん（長田地区）、渡邊弘秋さん（猿島地区）、齊藤恭子さん（静地区）)

11/24

境町いきいきクラブ連合会（寺山守会長）、間中敏子さんが茨城県知事より功績者表彰を受賞

11月10日（金）、茨城県知事より境町いきいきクラブ連合会（寺山守会長）と間中敏子さんの、長年にわたる社会貢献活動や、地域の活性化活動が評価を受け、功績者表彰を受賞され、11月24日（金）に橋本町長に受賞を報告しました。



受賞を報告する寺山会長と間中敏子さん
(左から寺山さん、間中さん)

9/28

第4回 境町民グラウンド・ゴルフ大会兼 第66回 境町グラウンド・ゴルフ協会大会

会場：ふれあいの里（32ホール） 出場者数：240名

◆男子の部（敬称略）

優勝 甲斐 敬通（大歩） 63打

準優勝 海老原昌嗣（伏木） 69打

第3位 川島 清壽（住吉町） 73打

◆女子の部（敬称略）

優勝 新谷 稔子（宮本町） 76打

準優勝 石綿まさ子（蛇池） 76打

第3位 青木 和子（若林蓮台） 77打



後列：左から 石綿さん、新谷さん、青木さん
前列：左から 海老原さん、甲斐さん、川島さん

表彰

10/20

石山眞道さんが厚生労働大臣表彰

10月20日（金）に東京都港区のベルサール虎ノ門において、石山眞道さん（元境町国民健康保険運営協議会委員）が厚生労働大臣表彰を受賞され、12月7日（木）に橋本町長より町感謝状とともに贈呈されました。この表彰は、長年にわたり国民健康保険事業に従事し、その発展に貢献した功績が顕著であり、他の模範と認められた方に贈られるものです。

石山さんは、境町国民健康保険運営協議会委員として、平成3年1月1日から平成24年12月31日まで22年間もの長きにわたり、境町国民健康保険運営協議会委員として活動され、平成15年から平成24年までの10年間においては、同協議会会長として国民健康保険事業に貢献されました。石山さんの長年にわたる功績により、今回の受賞となりました。



受賞を報告する石山眞道さん

11/27

アルゼンチンと友好90年 大使迎え記念碑除幕式



町立長田小学校とアルゼンチンの友好90周年を祝う記念碑が、正門近くに建立されました。伝統の行事「第34回アルゼンチンの日の集い」に合わせ、除幕式が11月27日（月）開かれました。式典にはエドゥアルド・テンポネ駐日アルゼンチン大使をはじめ、町長や外務省南米課の篠崎英樹課長補佐らが出席し、関係者はこれからも友好を深めていくことを誓いました。

記念碑は御影石製で横53cm、高さ40cm、厚さ6cm。石碑前面に「アルゼンチン共和国 長田小学校 友好九十周年記念碑」と刻まれています。

同校では、89年から毎年「アルゼンチンの日の集い」を開催し、今年も5、6年生の鼓笛隊演奏や全校児童による合唱などがテンポネ大使らに披露されました。



記念碑前での集合写真



児童達と一緒に給食を食べる大使



アルゼンチンの歴史について説明をする児童

1/2

能登半島地震 境町が代理寄附を受付

境町では、令和6年1月1日（月）に発生した能登半島地震により、石川県内において甚大な被害が出ているため、被災自治体の負担にならない支援方法として、ふるさと納税の仕組みを活用した「代理寄附」の受付を行っています。境町が代理で行うことにより、被災自治体は寄付金受領書の発行やワンストップ特例申請書の受付事務などの事務負担が軽減され、現地での復旧作業や被災者へのケアに注力できます。

ふるさと納税ポータルサイトを通じ、石川県輪島市・珠洲市においては1月2日（火）より、石川県においては1月3日（水）より、それぞれ寄附受付を開始し、現在までに総額3.7億円を超える温かいご支援と、数多くの応援メッセージが全国から届いています。

10/15

4年ぶりの開催 さかיים子郷土検定 決勝大会

10月15日（日）、境町中央公民館において「第9回 さかיים子郷土検定決勝大会」が開催されました。この大会は、町内全小学校で行われた校内検定をもとに構成された小学4・5年生の代表チームが、町の歴史や文化などの知識を、書き問題や早押し問題のクイズ形式で競いあうものです。

当日は、大人部門、会場〇×クイズ、小学生決勝大会が行われ、大盛り上がりの中、小学校決勝大会では「森戸小学校」が見事、優勝に輝きました。

郷土検定を通して、境町について楽しく学び、郷土愛を深める一日となりました。



さかיים子郷土検定に出場者および参加者の集合写真

11/22

境町がホッケータウンに認定

ホッケー競技の普及振興に実績がある、もしくは今後、先駆的な取り組みが期待される自治体として、境町が日本ホッケー協会に「公式ホッケータウン」として認定され、町ホッケーフィールド（みらい平）で22日（水）、同協会の三須和泰会長から町長に認定証などが手渡されました。本件は、同協会創立100周年記念事業の一環で、全国で19自治体が認定されましたが、境町は、東京2020五輪での日本代表やアルゼンチン代表合宿の受入れや、定期的なホッケー教室の開催など、一連の取り組みが高く評価されました。認定式で三須会長は「境町は東京2020五輪で、アルゼンチン代表の事前合宿地として、女子チームの銀メダル獲得に貢献した。また、コロナ禍で日本代表チームも受入れた。今後も協会と境町が日本のフィールドホッケーをけん引していければ」と挨拶されました。



公式ホッケータウンに認定されました

10/4

スキップ・マーティンさん 小中学校で指導

グラミー賞を受賞した米国の人気アーティスト、スキップ・マーティンさん(66)が町長を表敬訪問しました。その後、境町の小中学校3校を訪問し、トランペットや歌を披露したほか、特別講師として吹奏楽部員に指導もしました。マーティンさんは「みんなシャイだが、演奏や話をすごく熱心に聞いてくれた。今日、学んだことを覚えてほしい。」と語られました。

マーティンさんは1980年代から「ダズ・バンド」、「クール&ザ・ギャング」のボーカル、トランペット奏者として活躍。2016年に初来日し、東日本大震災の被災地などを支援しました。17年から「子どもたちは私たちの未来」をテーマに学校や幼稚園などの訪問を続けています。23年には、米大統領から特別功労賞が授与されました。



橋本町長(中央)を表敬訪問したスキップ・マーティンさんら

10/14

利根川の氾濫想定 住民600人広域避難

10月14日(土)利根川氾濫による町外への避難を想定した総合防災訓練を初めて実施しました。住民約600人が参加し、町中心部から約12キロ離れた指定避難所でこれまでに唯一避難実績のない県立八千代高校(同県八千代町平塚)に、検証を兼ねて広域避難を実施しました。

訓練は、利根川の氾濫の危険性が高まったとして、午前8時に「高齢者等避難」町内全域に発令し、8時45分に「避難指示」を発令しました。住民は、防災行政無線や防災アプリなどで避難情報を確認後、自家用車や用配慮者は、町が用意したマイクロバス6台で避難。平均23分で八千代高校に到着しました。

参加者からは、「災害に備え、こういった訓練は重要ですね。」などの話がありました。



総合防災訓練にてあいさつをする片田特任教授

8/23~8/27

英語教育でホームステイ ハワイに初めて中学生を派遣

姉妹都市の米ハワイ州ホノルル市にある姉妹校アリアマヌ中学校に町内の中学生を初めて派遣しました。派遣第1期生の15人は、作文や英語での面接を経て、境一中から9人、境二中から6人が選ばれました。

8月18日(金)、15人の生徒が橋本町長を表敬訪問し、英語力の向上やハワイの文化を学びたいとそれぞれ抱負を述べました。23日(水)に羽田空港を出発し、州立アリアマヌ中学校の生徒と交流。通常の授業のほかに、フラダンスやウクレレのレッスン、島巡りなども体験しました。生徒たちは、英語の学習と併せてハワイの伝統文化や歴史も学び、現地の生徒の家庭にホームステイをして交流を深めました。また、ホノルル市長や日本領事館を表敬訪問し、28日(月)に帰国しました。



参加者での集合写真

9/13

森戸小5年生が稲刈りを体験!

森戸小学校では、5年生による稲刈りの体験学習を実施しました。ほとんどの子どもは稲刈りが初めてだということで、農家の方々から鎌の使い方を教えていただき、児童たちは稲を一束ずつ掴み、慎重に刈り取っていました。

普段はできない稲刈りの体験に、児童たちは「難しいけど、作業を進めていくうちにコツをつかみ、楽しく稲刈りができました。」と話していました。



刈り取りの様子

俳句

令和五年九月 境町文化協会俳句部

兼題 「名月・赤蜻蛉」 他当季雑詠

名月や一人夜更けの露天風呂

雄節

※夫婦水入らずの温泉旅行の際の作品なのか、それとも恒例の家族一丸旅行の折のひとつコマなのか、そのどちらにしても、こんな様々な好条件の揃うことなど滅多に在る物ではあるまい。第一、名湯を独り占めしての御見見とは恐れ入る。正に、「極楽、極楽」の旅だったに違いない。

みちのくの各駅停車 赤とんぼ

久子

※高齢を迎えて、悲喜交々の永年の商いを畳んで、やっと身の整理や心の落ち着きを得た頃、息子や娘達から餞として贈られた「陸奥への旅」。本線からローカル線へと乗り換えてからの各駅のホームには、恰も、作者夫妻をねぎらうかのように群舞する美しい赤蜻蛉の姿があった。

名月や喉通り良きひとり酒

香こ

童謡のような満月出でにけり

芙蓉

名月や灯落として屋形船

慶子

赤蜻蛉いよいよ緋く空を染め

きみ代

赤とんぼ 茜の空に溶け込めり

信子

赤とんぼ 夕空高く群れにけり

譲一

赤とんぼ 掠めてあそぶ畦の道

幸子

戦火なき空の碧さよ 赤蜻蛉

正子

名月や遅き夕餉を覗きおり

仁

名月の冴えて散歩の歩を止めて

妙子

名月や筑波の山に鎮座まし

ひろこ

里山の夕やけ眩し 赤蜻蛉

きよ乃

名月や 忠治名残りの 赤城山

光夫

夕空を自由気儘に 赤蜻蛉

春世

名月やかがひの里の 男女川

喜一

秋空の利根を彩る 赤蜻蛉

すみ子

赤蜻蛉あるく先々 ついてきて

むりき

短歌

境短歌会 山鳩

カレンダー残りわずかな日めくりに過ぎた一年速さに驚く

川上京子

夜明け前くつきり見える屋根の奥錦に色づき希望を招く

川村米子

離れ住む卒寿の姉妹初メールリアルタイムの動画貼りつけ

古谷野信子

舞い落ちる師走の風にはらはらと夕日を受けて柿の葉躍る

桜井レイ

奮発し豪華おせちに舌鼓たまの贅沢くらしにゆとり

五月女三枝子

さざんかの花びら散り敷く狭庭辺に小雀飛び来て蹴散らし遊ぶ

鈴木喜興子

師走風せわしくない私がいる今年は去りて過去を重ねる

松岡美智子

小春日の狭庭いろどるつわぶきの黄花いとおし温き昼かな

本島イト子

新年あけましておめでとございませう。年明け早々に能登地方で大地震が発生し大変な被害がありました。お亡くなりになられた方に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。また、その翌日には航空機事故もあり、北九州では大きな火災、新年早々暗いニュースの連続で心が痛みます。今後は穏やかな一年を送ることができるよう祈らずにはいられません。



宝くじ助成事業を活用して 坂花町の神輿を修復



今までの神輿は、昭和元年に造られ90年以上が経っていることから、老朽化が著しく、今回宝くじの助成金と地区負担金を併せて修復しました。修繕された神輿は、老人会や子ども会、夏祭りなどに活用され、地域交流の推進と地域の連携・協調の促進が期待されています。

※宝くじ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されている事業です。

令和4年度

主な

寄付を活用した使い道と金額

ふるさと納税では、寄付者が寄付金の活用先を選ぶことができます。境町では、教育、住民福祉、都市基盤、産業・観光振興、防災・防犯・安全等の使い道を掲示しています。

使い道の希望がない寄付やその他の善意の寄付に関しては、町の優先課題を踏まえ、活用しています。境町では、ふるさと納税を活用して行った令和4年度の主な取り組みをご紹介します。



教育文化



● さかいっ子未来塾推進事業 43万円



● 放課後子ども教室推進事業 103万円



● 文化・スポーツ大会等参加助成事業 17万円



● 国際交流推進事業 2,937万円



● 7つの習慣小学導入推進事業 110万円



● スーパーグローバルスクール事業 5,228万円



● GIGAスクール推進事業 1,393万円



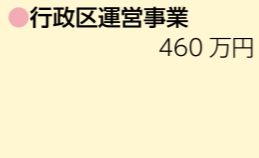
● アートのまちづくり推進事業 600万円



● 学校施設維持管理事業 1,254万円



● 子育て応援学校給食費補助金交付事業 4,643万円



● 行政区運営事業 460万円



都市基盤



● 公共交通ネットワーク構築事業 4,185万円



● 道路ストック整備事業 3,284万円



● 水素エネルギー推進事業 97万円



● 自動運転バス活用事業 650万円



● 通学高速バス定期券購入費助成事業 41万円



● 自動運転バス運行事業 5,723万円

● 企業立地推進事業 142万円

● 生活圏道路整備事業 2,248万円

● デジタル基盤改革事業 276万円

● 自治体情報セキュリティ強化対策事業 1,791万円

● さかいデジタル化推進事業 2,621万円



スポーツ振興



● アーバンスポーツパーク2nd整備事業 789万円



● S-デポ整備事業 485万円



住民福祉



● 子育て世帯等定住促進事業 1,623万円



● 移住促進奨励金事業 539万円



● 移住・定住促進民間賃貸住宅家賃助成事業 156万円



● 定住化促進事業 257万円



● 関係人口創出事業 696万円



● 外国人一元的相談窓口設置事業 178万円



● 保育園・認定こども園副食費・主食費無償化補助事業 2,417万円



● 妊娠・出産包括支援事業 92万円



● 第2子以降保育料無償化事業 1,368万円



● 産婦・乳児健康診査事業 98万円



● 特定不妊治療費助成事業 93万円



● 子ども・子育て支援事業 148万円



● 医療費助成事業(マル境) 3,761万円



● 子育て応援予防接種拡充事業 126万円



● 歩活プロジェクト事業 465万円



● 赤ちゃん紙おむつ等購入費助成事業 462万円



● さかい子育て支援センター運営事業 935万円



● 新生児記念品給付事業 56万円



● 医療施設整備事業 5,527万円



● 産前産後子育てヘルパー派遣事業 35万円



● 葉酸サプリプロジェクト事業 461万円

● 緊急風しん抗体検査等事業 156万円

金額は総事業費ではなく、ふるさと納税の充当分です

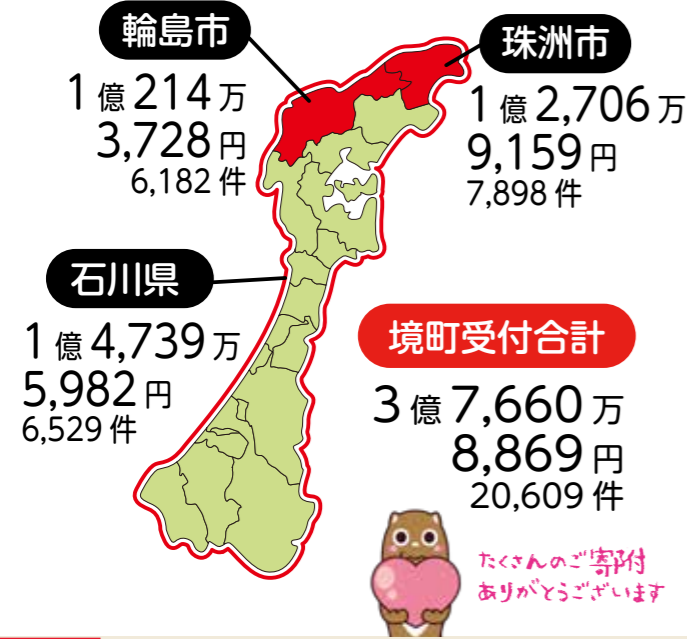
令和6年能登半島地震 災害支援・寄附

1/2 から 輪島市・珠洲市・石川県の代理寄附受付を開始

令和6年1月1日、能登半島で発生した震度7の地震・津波により、甚大な被害が発生しています。この度の被害を受けて、茨城県境町は「石川県輪島市」、「石川県珠洲市」および「石川県」へのふるさと納税の代理寄附の受付を開始しました。

境町の代理寄附受付

ふるさとチョイス+ふるなび+窓口寄附 R6.1.31時点



ふるさと納税代理寄附と境町

平成28年4月に発生した熊本地震を受け、茨城県境町は全国ではじめて、ふるさと納税の代理寄附の仕組みを作り、約1億1千万の寄附を熊本県に届けました。

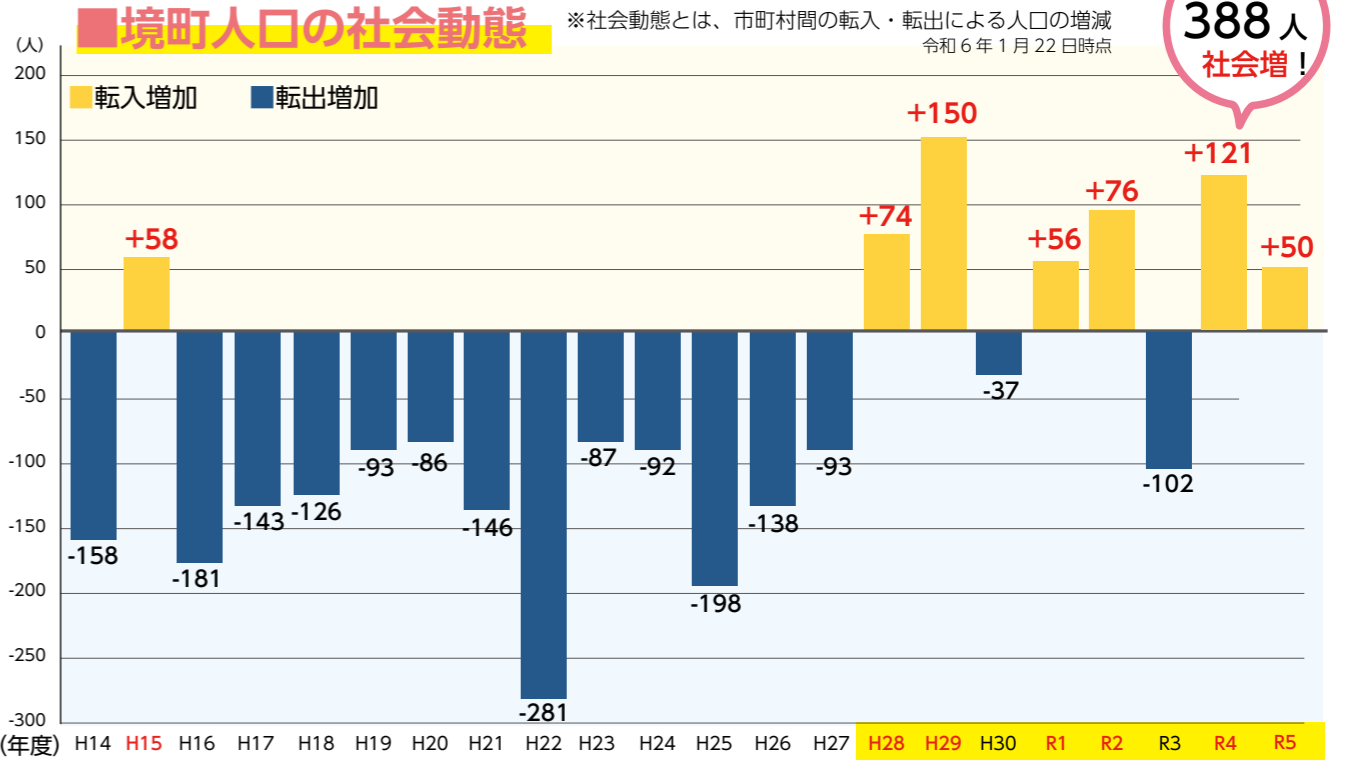
代理寄附を始めた理由は、境町が平成27年9月の関東・東北豪雨災害です。20億以上の被害を受けた境町に多くのふるさと納税の寄附金が寄せられました。被災自治体にとって寄附金が大変ありがたい一方で、災害対応のため納税証明書を発行する事務の手が足りない、という難点がありました。この経験が被災した自治体に代わり、ふるさと納税の事務手続きを離れた自治体が行い、寄附金を被災地へ届ける「代理寄附受付」の仕組みの誕生につながっています。



手厚い移住・定住子育て支援政策の効果で人口増

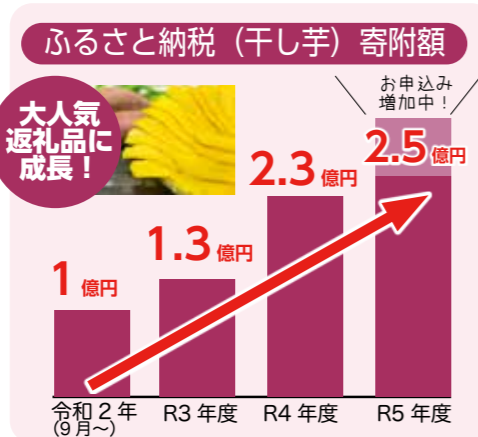
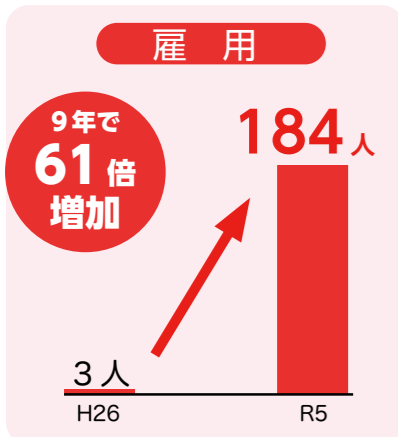
境町の社会人口が増加しています

境町では、ふるさと納税の寄付金を活用し、子育て支援・英語教育など、さまざまな取組みを実施してきた効果により、転入・転出の増減を表す人口の社会増減(社会動態)について、境町へ引っ越してきた人が、境町から町外へ引っ越す人の数を上回りプラスに転じました。今後も、様々な事業を実施し、選ばれる魅力あるまちづくりを推進していきます。



新しい特産品を開発、返礼品として大人気商品に成長！ 干し芋に計7億1千万円以上のお申込み！

境町ブランド研究開発施設「S-Lab」で開発した新たな特産品干し芋が大人気特産品に成長、令和4年度は1万8千件、2億3千万円以上のお申し込みがありました。令和5年11月より「S-Lab3rd」が稼働をはじめ干し芋人気に答える体制を強化、ふるさと納税が新しい産業と雇用を生み出しています。



Voice

寄付者の方から頂いた感想

「有ればあるだけ、食べてしまいそうだったので友人にも配り、おすそ分けを楽しみました。友人にも大好評でした」

「10ヶ月の子も手づかみでくわえて離さなかつたです！キロ単位で箱ごと買いたいです！」

「手作業で作られているのですね。通販もされていて気になるものもあったので購入してみます。また来年もふるさと納税します」



常設としては日本初となる世界大会が開催可能なレベルの施設 フランスハリケーン社製 境町アーバンスポーツパークを整備

国内トップクラスの選手が境町に移住！

東京オリンピック後のレガシーとして整備し、アーバンスポーツの国際大会招致を目的に令和3年3月に境町に完成した「境町アーバンスポーツパーク」の整備費の一部にも、ふるさと納税が活用されています。この施設を目的に「境町から世界を目指したい」と、国内トップクラスのBMXフリースタイル・パークの白井伶穂選手・玲恵奈選手兄妹とそのご家族が境町に移住しており、インラインスケート女子世界チャンピオンの明賀芽泉選手も移住するなど、境町にスポーツ移住する方が増加中です。

境町アーバンスポーツパーク 2nd 整備中

東京五輪に使用したBMXフリースタイルパークの施設を境町に移設！整備費用の一部にふるさと納税も活用しています。

ふるさと納税活用事業を次ページからご紹介します！



令和4年度 境町ふるさと納税 昨年を上回る全国16位を獲得

令和5年8月1日総務省発表

令和4年4月から令和5年3月の全国のふるさと納税寄付総額が公表され、境町は全国で16位、全国町村では4位、6年連続関東1位、そして8年連続で茨城県内1位を獲得しました。

令和4年度 (R4.4月~R5.3月)
境町ふるさと納税寄付申し込み金額
59億5,348万円!!

ふるさと納税寄付金全国ランキング

順位	市町村名	令和4年度受入れ額 ※ R4.4月~R5.3月 [カッコ内は前年度]	前年 順位	前年 比較
1	宮崎県 都城市	195億9,261万円 [146億1,619万円]	2	↑
2	北海道 紋別市	194億3,290万円 [152億9,676万円]	1	↓
3	北海道 根室市	176億1,278万円 [146億456万円]	3	—
16	境町	59億5,348万円 [48億8,602万円]	17	↑

ふるさと納税寄付金茨城県ランキング

順位	市町村名	令和4年度受入れ額 ※ R4.4月~R5.3月 [カッコ内は前年度]	前年 順位	前年 比較
1	境町	59億5,348万円 [48億8,602万円]	1	—
2	守谷市	55億7,418万円 [34億6,966万円]	2	—
3	日立市	20億1,318万円 [25億7,309万円]	3	—

いただいたふるさと納税は
様々な事業に活用しています

詳しくは中面で!

